

## ○ 参考資料

- (1) いわき市総合計画審議会設置条例
- (2) 委員名簿
- (3) 第1回いわき市総合計画審議会 議事録
- (4) 第2回いわき市総合計画審議会 議事録

## いわき市総合計画審議会設置条例

### (設置)

第1条 市の総合的かつ計画的な行政の運営に資するため、地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の4第3項の規定に基づき、いわき市総合計画審議会（以下「審議会」という。）を設置する。

### (所掌事務)

第2条 審議会は、市長の諮問に応じ、市における総合的かつ計画的な行政の運営を図るための基本構想及び国土利用計画法（昭和49年法律第92号）第8条第1項の規定に基づく市町村計画の作成及び運営に関し必要な事項を調査審議する。

2 審議会は、前項の諮問に関連する事項について、市長に対し意見を述べることができる。

### (組織)

第3条 審議会は、委員30人以内で組織する。

### (委員)

第4条 委員は、知識経験を有する者のうちから市長が委嘱する。

2 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 委員は、再任されることができる。

### (会長及び副会長)

第5条 審議会に、会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

### (会議)

第6条 審議会の会議は、会長が招集し、会長が会議の議長となる。

2 審議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 審議会の会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

### (部会)

第7条 審議会は、会長の定めるところにより、部会を置くことができる。

2 部会に属すべき委員は、会長が指名する。

3 部会に部会長を置き、部会に属する委員の互選により定める。

4 部会長は、部会の事務を掌理する。

5 部会長に事故があるとき又は部会長が欠けたときは、部会に属する委員のうちから部会長があらかじめ指名する者が、その職務を代理する。

### (委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

# いわき市総合計画審議会委員名簿

(氏名五十音順、敬称略)

No.	団 体 名	職 名	氏 名	備 考
1	福島工業高等専門学校	副校長(研究・地域連携担当)	アタカワ カツノリ 芥川 一則	
2	公 募 委 員		イトノリ オ 飯田 教郎	
3	福島さくら農業協同組合	理事	イシイ タツコ 石井 多津子	
4	公 募 委 員		オオワタ アキ 大和田 亜紀	
5	いわき経済同友会	副代表幹事	オヌマ フミノブ 小沼 郁互	
6	いわき市行政嘱託員(区長)連合協議会	会長	カナリ カツヤ 金成 克哉	
7	いわき女性交流ネットワーク	会員	カネコ タカコ 金子 隆子	
8	一般社団法人いわき市医師会	会長	キムラ モリカス 木村 守和	
9	社会福祉法人いわき市社会福祉協議会	会長	コウキチ ノブコ 強口 暢子	
10	一般社団法人いわき観光まちづくり ビ ュ ー ロ ー	係長	サトウ ヨシノリ 佐藤 義範	
11	いわき地区商工会連絡協議会	副会長	タカハシ タカミツ 高橋 孝光	
12	いわき市森林組合	代表理事組合長	タコ エイジ 田子 英司	
13	特定非営利活動法人SODA	代表理事	テルイ ヨシカツ 照井 義勝	
14	いわき商工会議所	副会頭	ネモト カツヨリ 根本 克頼	○
15	いわき市PTA連絡協議会	会長	ハコサキ ヨウイチ 箱崎 洋一	
16	東日本国際大学	副学長 経済経営学部教授	フクサク マサユキ 福迫 昌之	
17	公益社団法人いわき青年会議所	理事長	モウエ マサツク 馬上 順胤	
18	いわき地域環境科学会	会長	モロハシ ケンイチ 諸橋 健一	
19	医療創生大学	地域連携センター長 教養学部教授	ヤマクチ ケンジ 山口 憲二	◎
20	福島県漁業協同組合連合会	参事	ワタナベ ヒロアキ 渡邊 浩明	

◎…会長、○…副会長

第1回いわき市総合計画審議会 議事録

1 日 時 平成30年11月19日(月) 10:10~11:15

2 場 所 市役所本庁舎3階 第3会議室

3 出席委員数 13名

4 次第・資料 別紙のとおり

- 5 議 事
- (1) いわき市総合計画審議会の概要について
  - (2) 会長・副会長選任
  - (3) 説明事項
  - (4) ① 新たな総合計画策定の進め方について
  - (5) その他

6 議事内容

- (1) いわき市総合計画審議会の概要について

発言者	主な発言内容
事務局	資料(P1~P3)に基づき説明
事務局	ただいまの説明に対して、ご意見・ご質問があればお願いしたい。
委員一同	(意見なし)

(2) 会長・副会長選任

発言者	主な発言内容
事務局	市総合計画審議会設置条例第5条第1項の規定に基づき、会長、副会長を1名ずつ、互選で選任をお願いしたい。 会長については、会議の議事進行をお願いするほか、必要に応じて会議のとおりまどめを行っていただくことになる。 会長、副会長の選任について、ご意見等があればお願いしたい。
委員	事務局の案があれば、ご提示いただきたい。

事務局	昨年度までの市まちづくり市民会議において委員長、副委員長を務めていただいた経緯等を踏まえて、会長にはいわき明星大学の山口委員に、副会長には、いわき商工会議所の根本委員にそれぞれお願いしたいと考えているが、いかがか。
委員一同	異議なし。
事務局	異議なしとのことで、会長を山口委員に、副会長を根本委員にお願いする。

(3) 説明事項

- ① 新たな総合計画策定の進め方について

発言者	主な発言内容
事務局	資料(P4~P7)に基づき説明
事務局	ただいまの説明に対して、ご意見・ご質問があればお願いしたい。
委員	創生総合戦略と総合計画との関係は、
事務局	現行の創生総合戦略は、平成31年度に終期を迎える。このようなことを含めて、新たに策定する総合計画と統合するのか、あるいは、今までどおり別々に策定するのかを本審議会の中で語っていきたいと考えている。
事務局	その他、ご意見・ご質問があればお願いしたい。
委員一同	(意見なし)
事務局	新たな総合計画策定の進め方については、説明のとおりとさせていただく。 また、今回が第1回目の審議会であることから、総合計画や将来のまちづくり等について、意見や所感を含めて皆様から一言ずついただいたらいい。
委員	国内だけではなく、海外にも目を向けたまちづくりが必要である。今後、外国人が増加する見込みであるため、地方が外国人を受け入れ、教育することで地方に居続けてもらう研究をしている。
委員	いわき市を若者にとっても魅力あるまちにしたいが、なかなか若者の減少が止まらないのが現状であり、起業・創業等については、一定の手を打っているものの根本的な見直しが必要と考えている。

委員	一人では解決できない課題に対して、区長をはじめとした近隣の方が力を貸して下さることがある。思いやりのある暮らしやすいまいまづくりを目指したい。
委員	地域の経済を発展させ、まちの活性化を図るために、まずは地域以外からの外貨獲得がポイントとなると考えます。 また、人口減少も大きな課題と考へており、各種社会資源を活用しながら交流人口をいかに増加させるかを、自ら勉強や体験をしながら提言していきたい。
委員	本市は13地区に分けられており、各地区で要望があるがその全てを聞いていくのは大変。人口減少が進む中、今後は平を中心とした文化・教育のまちづくりを推進していくべきと考えます。
委員	高齢者の割合が増加していく中で、高齢者の医療・介護についての人手不足が問題となっている。しかし、高齢化についての問題は、どの分野においても生じていることから、しっかり考へていくべきだと思ふ。
委員	お互いが助け合いながら生活できる住みよいまちづくり等について提言していきたい。
委員	いわざは広い市域で毎週多くのイベントが開催され、色々な魅力があるが、そうした情報をいかに収集し、皆さんに知ってもらえるかが課題となっている。 自由に、そして気軽に魅力ある情報を共有できるシステムづくりを考へながら、若い世代に向けても発信していくという役割を担ってほしい。
委員	当団体としては、浜通りの再興に向け取り組んでいく。自治体によって復興の進捗は異なっている。まちの存続に関わる問題である。このような取り組みを踏まえ、当団体の立場から本審議会において提言していきたい。
委員	水や空気が森林が健全な状態であるかどうかが大きく影響している。 本市は、森林が市域の72%を占めている。 本年4月に三和の木材が森林認証を取得し、東京2020オリンピックの関連施設で使用してもらええる道筋がたつた。 中山間地の問題等、色々あるが、森林管理という観点からまちづくりへの影響や効果について提言していきたい。

委員	少子高齢化の中で、学校の統廃合、学区の変更などが増えてきた。今後とも学校が減少していくことが予想されている。地域と学校が一体となつて、子どもたちを支えていく必要がある。保護者にも参画する意識を持つてもらえるよう取り組んでいきたい。 人口減少をどうするかより、その中でどうするかを考へるべき。 子どもたちに対して恥ずかしくなく10年後を考へていきたい。
委員	個別計画が多々あるが、それぞれが個々のビジョンを描くとまとまらなかつた。各計画が有機的に発展するためには、それらを包括する全体の考へ方・方針が新計画では必要になると考へる。 また、今後は双葉郡の地域との連携など自治体を越えた視座が必要であると思ふ。
委員	山、川、水、空気、土、動植物、自然物はもちろんのこと、人間も環境の一部であり、私達人間が自然との営みにより生まれる文化や歴史も環境の一部と考へる。 これまで培った環境情報を活かして、いわきのまちづくりを考へていきたい。
(4) その他	
発言者 事務局	主な発言内容 連絡事項として、一点目は、次回の第2回審議会を来年1月中旬から下旬に開催することを考へており、内容としては、委員の課題認識や将来への思い、総合計画に必要な視点についての協議をお願いしたいと考へている。 また、第2回の開催前までに、委員の皆様のを個別にヒアリング場所等については、改めて事務局より連絡する。 二点目として、議事録に署名いただく委員2名については、会長の山口委員と、副会長の根本委員を除いて、名簿順で持ち回りにしたい。 本日は、名簿順だと、芥川委員と飯田委員に署名をお願いしたい。 他になければ、以上で本日の会議を終了する。
事務局	以上

以上の議事録が正確であることを証するため、次に署名押印する。

平成 30年 11月 29日

議事録署名人 芥川一則

平成 30年 12月 3日

議事録署名人 飯田教郎

第2回いわき市総合計画審議会 議事録

1 日 時  
平成31年2月1日(金) 13:30~15:00

2 場 所  
市役所本庁舎8階 第8会議室

3 出席委員数  
16名

4 次第・資料  
別紙のとおり

5 議 事

(1) 説明事項

- ① 新たな総合計画策定の方向性について(資料1)
  - ② 市民アンケートの調査概要について(資料2)
  - ③ 市公共施設等総合管理計画の概要について(資料3)
- (2) 協議事項
- ① 各委員とアテリング等における「市総合計画に必要な視点」等について(資料4)
  - ③ その他

6 議事内容

(1) 説明事項

- ① 新たな総合計画策定の方向性について(資料1)

発言者	主な発言内容
事務局	(資料1に基づき説明)
委員一同	(意見なし)

- ② 市民アンケートの調査概要について(資料2)

発言者	主な発言内容
事務局	(資料2に基づき説明)
委員	アンケート調査は以前にも実施しているのか。
事務局	現行の改定後期基本計画は平成28年~32年度の計画期間で平成27年度に策定しているが、その際も実施している。

委員	無作為で抽出する3,000人の年齢幅も無作為になるのか。
事務局	年齢幅については、市内在住の18歳以上の男女に対して、人口比で性別、男女別、年代別を設定している。
委員	新たな計画については、20年先を見据えて、計画期間は10年としており、20年先を考えた場合、年齢が18歳の子は38歳になり、いわきで一番活躍する世代である。 その一歩手前の今の高校生世代についても、20年後は30代中盤で脂が乗りきっている世代となり、対象年齢を高校生位まで下げて、若い方の意見を聴くのも良いかなと感じた。
事務局	アンケートに加えて実施しているセグメント懇談会で各分野の団体や若者に対して意見をお聴きしている。足りない部分はそこで補っていきたい。

③ 市公共施設等総合管理計画の概要について(資料3)

発言者	主な発言内容
施設 マネジメント課	(資料3に基づき説明)
委員	民間活力の活用について、上下水道以外の教育文化施設においても、コンセッション方式が対象となると聞いているが、現時点で検討している施設はあるか。
施設 マネジメント課	現時点で具体的に検討に入っている施設はないが、今後、公共施設の在り方を検討する中で併せて検討していきたい。
委員	今後、総合管理計画の改訂にあたっては、市民に意見を問うときによくつかの案を提示し、それぞれの優劣を示すと良いかなと感じた。検討していただければと思う。
委員	余剰施設や稼働率の定義について教えていただきたい。 例えば、学校教育施設の稼働率とはどう捉えているのか。
施設 マネジメント課	余剰施設とは、行政目的を終えて使用されていない施設のことである。また、学校教育施設の稼働率については、学校の利用状況については、貸出の一方、公民館や文化施設などの集客を伴う施設については、貸出の人数に対してどれだけ利用されたかで、施設毎に稼働率を算出している。

委員	<p>その中で、稼働率の最大値、最小値、平均値等をわかる範囲で教えていただきたい。</p> <p>平成26年度の数値で、上荒川運動公園内の平テニスコートクラブハウスは100%となっている。</p> <p>一方、一部の公民館で10%に満たないなど、稼働状況はバラバラである。</p> <p>一人が長い時間利用するケースや100人が一度だけ利用し、後の時間は空いているケースがあったり、稼働率を一律で定義するのはなかなか難しい点もある。</p> <p>昨日、ある地域の地域ケア会議に出席した。</p> <p>高齢者の一人暮らしや二人暮らし、少子高齢化が進む中、地域包括ケアということで私が所属する団体と市保健福祉部で色々な取組みを行っている。会議の中で、高齢者が集まる場所がないという話があった。</p> <p>ある地域では外で集まって活動しており、とても寒いとのことである。高齢者のお互いの助け合いによる地域づくりが必要であると考えているが、地域の目からみると、集まれる場所がないというところもある。</p> <p>稼働率は記載されているが、収益状況の記載はない。</p> <p>総合管理計画の性質上、記載すべきものではないか教えて欲しい。</p>
委員	<p>全ての公共施設で収益性を求める性格があるものではないが、国からは今の施設をそのまま維持管理した場合と長寿命化対策を図った場合の経費の見込みを総合管理計画に入れることが望ましいとの通知が出されている。</p> <p>今後の施設の維持管理、改築にあたっては、経費の見込みや施設の維持管理、改修に際しての財源をいくらか確保できるのかといった視点が重要になる。</p> <p>施設の収益についても把握していく必要があることから、今後検討していきたい。</p>

(4) 協議事項

① 各委員ヒアリング等における「市総合計画に必要な視点」等について(資料4)

発言者	主な発言内容
事務局	(資料4に基づき説明)
委員	<p>森記念財団都市戦略研究所が日本の都市特性評価というものを行っている。</p> <p>政令指定都市、県庁所在地、各都道府県で人口規模が第1～3位の都</p>

委員	<p>市の全72都市を対象に「経済・ビジネス」「研究・開発」「文化・交流」「生活・居住」「環境」「交通・アクセス」の6つの分野で指標を用いて、スコア化して、順位付けしている。</p> <p>この中でいわき市が「環境」で7位にランクしている。</p> <p>環境分野については我々の強みであると思う。</p> <p>県内他市では、「生活・居住」で福島市が13位、郡山市が27位に入っているが、その他分野で30位以内に入っているものはない。</p> <p>全国の総合でのランキングは、京都市、福岡市、大阪市、名古屋市、横浜市、神戸市、札幌市と続いている。</p> <p>各委員に対して日頃、自分の分野等を感じていることをお聞きした。これに加えて、客観的な目でどう都市が評価されるかを出発点とする見方も必要ではないかと思ってお聞きした。</p> <p>総合計画は総花的にするのが果たして良いのかという意見もあるの、ある程度絞っていく必要もあるかと思う。</p> <p>復興計画等で「安全・安心」を掲げている。震災にとらわれるべきではないと言いつつも、震災の影響はある。</p> <p>「安全・安心」という一つの方向性を市としてもっていく必要はあると思う。</p> <p>また、イノベーション・コースト構想を踏まえ、プロジェクトや拠点施設整備が近隣で進む中、都市機能や生活の拠点はいわき市になるだろう。</p> <p>震災後、整ってきたところ、あるいは乱れたところを修正する意味でも、生活、住みやすさは重要になってくると思う。</p> <p>それから、縮小していく時代の中、農林水産業と生活との調和をどう図っていくかも重要であると感じている。</p> <p>各委員から出た意見としては「スポーツ」をどう入れるかや郷土愛というものを特徴づける必要もあると感じた。</p> <p>郷土愛については、精神的なものだけではなく、実体も伴うような整理も必要かと思う。</p> <p>また、いわきの強みが何かと考えたときに、大きな障害から立ち直る力、再生能力かなと感じている。</p> <p>かつて石炭で栄えたが、エネルギー革命で石油に移行する中で、観光に活路を見出した。そして、震災があり、立ち直っていく中でイノベーション・コースト構想が出てきた。</p> <p>資料4のp29にあるウオルトディズニーの言葉のように、企業の経営理念に類するような価値観、いわきでこれだけは絶対に譲れないというものを、新たな総合計画に取り入れたいと個人的に思っている。</p>
委員	<p>エコは大切であるということとを述べたが補足させて欲しい。</p>



委員	<p>エコには ecology エコロジー (生態学) と economy エコノミー (経済) があるが、接頭語のエコは同様に、ギリシヤ語の oikos オイコス (家、家庭、生活環境等) から来ている。</p> <p>ecology の logy はギリシヤ語で logos、学問・研究という意味から、家の学問、生物の住みか、自然・地球、つまり生態学、環境への配慮である。</p> <p>一方、economy の nomy はギリシヤ語で nomos、法則・秩序という意味から、生計、家計の法則、つまり経済である。</p> <p>環境と経済は繋がっている。対立概念ではない、どちらか一方だけ発展してもうまくいかない。</p> <p>環境に配慮しながら経済の安定を実現することが安全で豊かな生活を送れる。</p> <p>それから、経済を呼び込むのに手っ取り早いのは観光であると思う。雇用にも繋がる。</p> <p>地元資本だけではなく、外国資本や都会からの資本も獲得していくべきと考える。</p> <p>スペインでは街中に100~200m毎に巨大な分別用のゴミ箱が置いてあり、市民はいつでもゴミを出すことができる。</p> <p>一方、シンガポールでは高額な罰金を科すことで、清潔さを保っている。</p> <p>日本においては、曜日毎に分別してゴミを出すシステムである。</p> <p>エコロジーに関しても、国や文化でアプローチが随分違うなという印象をもった。</p>
委員	<p>今後、少子高齢化が進む中で、市民が要介護や認知症になっても住み慣れた地域で住み続けられるまちづくりが必要であり、地域包括ケアという点で、医療、介護、行政の関係者で様々な取組みを実施しているが、キーワードでも「地域力」や「つながる」が、取り上げられているが、これを広げていく必要がある。特に中山間地域ではより大切である。</p> <p>子どもから高齢者まで繋がる地域づくりが必要であると感じている。</p> <p>私は5年前からある地区の小学4年生に対して認知症絵本教室を行っている。認知症について、講義や紙芝居で説明した後、子どもたちに6、7人でグループを作って、話し合いをして発表してもらおう。小学4年生にもなると物事も分かってきて、認知症の方に対して優しくしたいという気持ちから非常に素直に表現する。</p> <p>先進地だとそこから広げて、高齢者と子どもが交流するような取組みを行っており、是非力を入れていくべきと感じる。高齢者にとっては子どもと一緒になることで非常に元気になる。</p> <p>最近子ども達同士で遊ぶことが少なくなってきた。経験がある高齢者から色々なものを教えていたただける場を作っていくければ良いと思</p>

委員	<p>また、昨年11月にある小学校の6年生へ、酒に対する特別授業を行った。全国的にはかなり広がりを見せている取組みである。提出された感想をみて、非常に理解されていると感じた。</p> <p>若いときからの教育は非常に大切である。</p> <p>いわきから別の地域に出ていく若者は多いが、いわきに戻ってきてもらえることについて、小学生のうちから分かってもらうこと、教育することは大切なことだと感じる。</p>
委員	<p>教育と他の分野との連携について話していただいた。</p> <p>ヒアリングの結果にもあったが、医師不足について、改善の施策はあるのか。</p>
委員	<p>昨年12月25日に医療センターが開院し、医師が2人増えた。放射線治療医師と緩和ケアの専門医師である。いわきの場合、勤務医数は全国平均の6割程度である。しかも、勤務医の年齢の高さは全国一に近い。新しい開業もほとんどない。簡単にには増えないという認識である。</p> <p>私どもにも何ができると、市民の皆さんへ医療や介護の知識を知ってもらうことが必要であり、実は本市は健診受診率が低く、癌や脳卒中での死亡率が高い。</p>
委員	<p>福島県は健康指標が全国でも悪い方だが、いわき市は福島県の中でも一番悪い方である。</p> <p>私どもとしても何とかしないとと考えており、市とも一緒にい。市民の皆様が健康や医療や介護に関心を持ち、知識を身に付けていただき、健康管理をしていくことが医療や介護のマンパワー不足への対応策と考え、取り組んでいる。</p>
委員	<p>共立病院から医療センターとなり、化学療法のリポート数が増えた。ただ、中々予約が取れない。ネックはスタッフの数のようだ。</p>
委員	<p>看護師が少ないと動けないということが実際に多い。医療センターは素晴らしい設備で、高度な医療が提供できるようになっている。</p> <p>一部の人だけではなく、市全体で医療・介護職の従事者の誘致をアピールしていくべきと考える。委員の皆様も医療センターの看護師を勧めたいだけだと思ふ。</p>
委員	<p>キーワードに基づくと視点が約20あるが、これを全部取り入れた場合、現行の総合計画と代わり映えしないように思う。また、何も達成できない可能性もある。</p>

以上の議事録が正確であることを証するため、次に署名押印する。

平成31年2月28日

議事録署名人 石井多津子

平成31年3月6日

議事録署名人 大和田亜紀

委員	<p>一つの意見としては、いわき市で特に課題となっているところに絞り込んで、取り組んでいく計画にしたほうがよいと思う。何らかの優先順位を決めた上で策定作業を進めたほうがよいと思う。</p> <p>外国人に来ていただきたいと言っている一方で、各機関からの市在住の外国人への郵便物等は、日本語であり、重要なものであっても読めずに行動に移せないケースがある。重要なものは、英文等で概要、問合せ先などを記載するなどの対応をしたほうがよい。</p> <p>いわき市にも約1,500人の外国人がおり、その人たちに住みよい地域と考えてもらうのであれば、英文等を記載することは、重要なことだと思う。受け入れる側の言語の対応などの心構えが必要である。</p> <p>今日いただいた意見は、次の会議に向けて、方向性を定め繋げていきたいと思う。</p>
議長	

(4) その他

発言者 事務局	<p>主な発言内容</p> <p>今回の会議の日程については、会長・副会長の日程、各委員の皆様のご都合も踏まえた上で、調整したい。詳細については、改めて事務局より連絡をさせていただきます。</p>
委員	<p>これだけの人数の委員がいるので、審議会だけでは、なかなか意見の真意を理解するのが難しい。分科会としての活動の可能性があるか検討して頂きたい。</p>
議長	<p>私と事務局で検討したい。</p>

以上